

愛知の病院

つなごう医療

<7>

パソコンの画面に、マッチ棒の頭のようなものが血管の中を進む様子が映し出される。ロータブレーターという器具を使い、心臓の冠動脈の内側で石のように硬くなった組織を削り取る治療。終わると、血管の狭くなっていた部分が広がり、太くて力強い血流がよみがえった。

「豊橋ハートセンター(豊橋市)の遺伝子継承」を掲げる。同センターには、血管内にカテーテルという細い管を入れて狭くなった部分を広げる経皮的冠動脈形成術(PCI)の権威、鈴木孝彦院長を慕つ心臓専門医が集まり、遠く海外からも患者が訪れる。その高度な医療を名古屋でも提供したい、との思いで開設されたのが、

名古屋ハートセンター 名古屋市

名古屋ハートセンターだ。賛同した聖路加国際病院(東京)の日野原重明理事長が顧問に就任。五千例以上のPCI実績を持つ松原徹夫副院長、国内外で高度な心臓手術を数多く手掛けてきた米田正始副院長ら十一人の循環器内科医、心臓血管外科医が二十四時間、三百六十五日の診療体制を整えている。

カテーテル治療に取り組み松原副院長(右)
名古屋市長の名古屋ハートセンターで



心臓治療地域と連携

冒頭の治療で使われたロータブレーターはPCIの治療器具の一つで、先端にダイヤモンドが付いたドリルを超高回転させて硬化部分を削り取る。高度な技術が必要なので、症例数など厚生労働省の施設基準を満たさ

なければ使えないが、開院してわずか三カ月で認められた。

「地域の医療に役立ち

る。

患者を紹介してきた開業医がPCI治療に立ち

「地域の医療に役立ちる。」という開設の理念もあり、地域の医療機関との連携に力を入れたい」といっている。最近では心臓病予防の講演会を企画。外山淳治院長によるコレステロールについての院内講演は、六百人以上から申し込みがあり、四回に分けて実施した。今春からは、動脈硬化の原因で高齢者に多く発生する大動脈瘤を開腹せずに治すカテーテル治療も始める予定。「地域に役立つ医療」に徹している。

（境田未緒）



名古屋ハートセンター
一▷創設 2008年▷64床▷看護体制 10対1▷常勤医 11人、非常勤医 6人▷循環器内科、心臓血管外科、内科▷名古屋市東区砂田橋。地下鉄名城線砂田橋駅から徒歩2分▷電話 052 (719) 0810

迅速に高度な医療

外山淳治院長の話 開業医の先生が困る症例を紹介していただき、温かく、安心で高度な医療を迅速に提供するのが私たちの願い。土、日曜日や夜間でも心臓救急を受け入れ、PCI、心臓外科を中心とした専門的な医療で社会に貢献したい。

同検査の半数は開業医からの依頼という。

心臓病予防の活動にも力を入れる。「ハートの日」の八月十日には、外部講師を招いた生活習慣病予防の講演会を企画。外山淳治院長によるコレステロールについての院内講演は、六百人以上から申し込みがあり、四回に分けて実施した。